

「人が輝き まちがきらめく
快適・環境都市 鳥取」



古くから深いつながりをもち、共に発展してきた鳥取県東部9市町村が合併し、山陰最大の人口20万都市として生まれ変わりました。

新「鳥取市」は、緑豊かな中国山地、千代川を始めとする多くの河川、はるかに広がる紺碧の日本海など、四季折々に変化する美しい自然に恵まれ、古事記・万葉集の時代からの歴史・文化資源も多く、また産業面でも電気・電子産業を中心とする製造業や農林水産業が盛んであり、全国的に見ても自然環境、居住環境、都市機能のバランスのとれた都市です。

この素晴らしい、自然、歴史、文化、産業など地域の「個性」を大切にするまちづくり、地域間の「連携」を強め活力にあふれるまちづくり、未来へ大きく「飛躍」する夢のあるまちづくりを合い言葉に、山陰の発展をリードする20万中核都市として邁進していきたいと思ひます。

さあ、みなさん、共に手をたずさえ新市の将来像「人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取」の実現に向けてがんばっていきましょう。

鳥取市長 竹内 功

子どもを育てる環境の整備を



青谷町 藏永篤子さん
(あおや和紙工房友の会会員・31歳)

鳥取は共稼ぎが多いので、学童保育や保育園の延長保育などが充実するととても助かります。
「新しい鳥取市は、子どもを育てる環境が整って、私たちが安心して働けるね」と言える素敵なまちになるといいですね。
たくさんの子どもたちに、青谷の鳴り砂や因州和紙を広く伝えていきたいと思ひます。

市民の声が反映される市へ



気高町 田淵孝則さん
(漁業・43歳)

気高に生まれ、気高で親の背中を見て漁師になったので、この町が好きです。合併後、大きな都市になり町が消えてしまうのではと不安ですが、鳥取中央漁協浜村支所長として、頑張っている漁師の仲間たちと行政の間につなぐ活動していけたらと思ひます。市役所には、市民の声を聞いてきめ細かな行政を望みます。

地域の雰囲気大切に



鹿野町 長谷川久枝さん (すげ傘職人・80歳・右)
村上ひさ子さん (// ・82歳・左)

鹿野には温泉や豊かな自然があり、また城下町の風情を残すところもたくさんあってとても落ち着く町です。そんな鹿野が私たちはとても好きなので、鳥取市になってもこの地域の雰囲気を大切に残していってほしいです。鹿野はいいところですから、あそびに来んさいな。

地域の特徴をいかした事業を



佐治町 金田透さん (農業・29歳)
洋子さん (// ・29歳)
倫子ちゃん (8カ月)

地域の特徴を活かした事業を進めていただき、それぞれの地域で人がにぎわい、それぞれの地域が発展していく鳥取市になってほしいと思ひます。私たちは都会から移り住み3年になりますが、佐治の素晴らしい景色を知ること、暮らしてみたいと思ひる若い人たちはたくさんいると思ひますよ。